

本学で推進される学術成果の発信 / 分野の枠組みを越えた特色ある研究・教育連携

## 企画展「東京の海・山・島に 一首都大学東京のフィールド 研究と学外体験型プログラム」を開催

平成 27 年 10 月 23 日（金）～11 月 8 日（日）／観覧無料

首都大学東京 南大沢キャンパス 91 年館（学芸員養成課程展示室）にて、本学の研究・教育の成果の公開及び学芸員養成教育の充実を目的として、企画展「東京の海・山・島に 一首都大学東京のフィールド研究と学外体験型プログラム」を 10 月 23 日（金）より開催します。

東京の海・山・島の「自然と社会と文化」は東京都の公立大学である首都大学東京の重要な研究対象であり、学生、社会人教育の素材ともなっています。この企画展では本学各分野の研究者によるフィールド研究の内容と成果、また学外体験型教育プログラムについてご紹介いたします。

多様な地域に広がる東京の自然や社会や文化に興味をお持ちの方はもちろん、将来の進路を検討中の生徒・児童の皆さんまで、あたらしい発見をしていただけることと存じます。観覧無料ですのでぜひお出かけください。

### ○ 企画展「東京の海・山・島に 一首都大学東京のフィールド研究と学外体験型プログラム」 概要

- ◆ 会 期 平成 27 年 10 月 23 日（金）～11 月 8 日（日）※会期中無休
- ◆ 時 間 11:00～17:00
- ◆ 会 場 首都大学東京 南大沢キャンパス 91 年館（京王相模原線「南大沢駅」徒歩約 5 分）
- ◆ 主 催 首都大学東京 学芸員委員会
- ◆ その他 観覧無料  
会場 URL <http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>



フィールド研究の様子  
（自然放射線測定 神津島）



教育プログラム「自然と社会と文化」の様子  
（“海の生物から考える” 伊豆大島）



展示予定資料「御倉島之図」  
（水野家文書「伊豆七島絵図」 首都大学東京蔵）

企画展の詳細は、別紙資料をご覧ください。

＜お問合せ・取材申込先＞

首都大学東京 91 年館 学芸員養成課程展示室  
電話：042-677-1111（内線 2041）

## 企画展

## 東京の海・山・島に

—首都大学東京のフィールド研究と学外体験型プログラム—

東京都は、大都市圏とともに、亜熱帯の島嶼部から奥多摩等の山間部にも広がり、自然環境、社会経済的条件、そして歴史・文化・民俗まで、多様な地域から成り立っています。そして東京都の公立大学である首都大学東京では、この全域を重要な研究・教育の場としています。

本企画展では「自然と社会と文化」に注目し、東京の海・山・島をフィールドとして展開を続ける研究内容と最新の成果、そして国内外から本学に進学する学生、社会人が参加する体験型の教育プログラムについてご紹介いたします。展示内容には前身の東京都立大学時代から45年の研究実績を持つ小笠原諸島をはじめとした、島嶼部での成果を多く盛り込み、それぞれに関わる研究者、学生らの取り組みの姿や地域との連携の実際にもスポットをあててご紹介いたします。

## 基本情報

- ◆ 会 期 平成27年10月23日（金）～11月8日（日）※会期中無休、観覧無料
- ◆ 時 間 11:00～17:00
- ◆ 会 場 首都大学東京 南大沢キャンパス 91年館 京王相模原線「南大沢駅」下車 徒歩約5分
- ◆ 主 催 首都大学東京 学芸員委員会
- ◆ 展示予定内容
  - 1 「東京の島の自然とその保全」
    - 1) 小笠原の自然環境と植生、花の性表現
    - 2) 小笠原諸島のグリーンアノールはどこから来て何をしているのか？
    - 3) 小笠原諸島父島および母島における外来アリ類の生息実態の解明
    - 4) 東京の海の磯焼けとその対策
  - 2 「災害と共に島に生きる」
    - 1) 2011年東日本大震災後の大島における環境放射線の推移
    - 2) 東京の火山島
    - 3) 2013年台風26号の再建フィールドワーク調査から
  - 3 「言語、伝承、モノ、島々をつないで」
    - 1) 小笠原ことばにみる文化交流の歴史
    - 2) 遺跡から知る伊豆諸島と本州の物資・情報の動き
    - 3) 本学所蔵「水野家文書 伊豆七島絵図」を見る
  - 4 「学外体験型教育プログラム しまなび・やまなび」
    - 1) 教養科目「自然と社会と文化」の紹介
    - 2) 社会人対象「野外講座」の紹介
- ◆ そ の 他 期間中に担当者（教員・研究者）によるギャラリートークを予定（詳細はWEBサイトにて）

## 展示担当者（職位／所属／担当展示番号）

●黒川信（准教授／都市教養学部 理工学系 生命科学コース／全体統括 1-4）4-1）4-2） ●菅原敬（准教授／都市教養学部 理工学系 生命科学コース／1-1） ●加藤英寿（助教／都市教養学部 理工学系 生命科学コース／1-1） ●林文男（教授／都市教養学部 理工学系 生命科学コース／1-2） ●江口克之（准教授／都市教養学部 理工学系 生命科学コース／1-3） ●福土政弘（教授／健康福祉学部 放射線学科／2-1） ●鈴木毅彦（教授／都市環境学部 地理環境コース／2-2） ●南里翔平（都市環境科学研究科 博士前期課程2年生／2-2） ●市古太郎（准教授／都市環境学部 建築都市コース／2-3） ●ロングダニエル（教授／都市教養学部 人文・社会系 心理学・教育学コース 日本語教育学教室 3-1） ●山田昌久（教授／都市教養学部 人文・社会系 国際文化コース 歴史・考古学教室／3-2） ●谷口央（准教授

## 学芸員養成課程展示室 ～ これまでの取り組みと本企画展の特色

本企画の会場となる首都大学東京 91 年館は、平成 24 年度に学芸員養成教育における実践的教育のための施設としての使用を開始しました。館内には学内 7 分野の保有する研究資料・標本類を最新の研究成果に基づいて紹介する常設展示室(学芸員養成課程展示室)、実習・講義に使用可能な多目的ホール、企画展示等に使用できるスペース等が整備されています。

この施設を拠点として、平成 24 年度から平成 26 年度までの3ヶ年においては、企画展示(計 6 回)の実施をはじめとする発信活動、本学の学術標本・資料類のデータベースの構築をはじめとする基盤整備活動に取り組んで参りました(首都大学東京傾斜的研究費「学術成果の都民への発信拠点・組織の形成」代表:山田昌久)。また活動の成果については一貫して本学の学芸員養成教育を中心とした教育活動、研究活動の質的向上に還元を行って参りました。今回の企画展示は、これらの活動の成果を引き継ぐもので、通算7回目の企画展示となります。

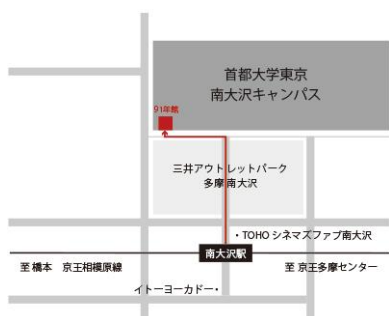
本展示は3学部6コース11名の本学教員が、学生・研究者らの協力を得て内容を担い、当館の展示としては最も広範な連携体制のもと実施されます。多様な研究・教育内容を、資料とともにご覧いただけることはもちろん、中規模総合大学である本学ならではの学部・学科・専門分野の枠組みを越えて有機的に連携する研究・教育体制を実見いただけるまたとない機会です。

なお企画展開催中には、常設展示(学芸員養成課程展示室)もご覧いただくことが可能です。

## 会場までのアクセス

### 交通アクセス

京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分  
※一般車両の駐車場はございませんので、公共交通機関にてお越しください。



### 周辺案内

南大沢駅改札口を出て右手奥に南大沢キャンパスが見えます。正門の手前で左折、130m 程進むと 91 年館です。大学構内には入らずにお越しいただけます。

首都大学東京 91 年館 学芸員養成課程展示室 <http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html>

施設代表者 山下 英明(学芸員委員会委員長/副学長/大学教育センター長)

本企画展責任者 黒川 信(学芸員委員会委員/都市教養学部 理工学系 生命科学コース 准教授)